

国実通信

190号

企画 国実女子部

国実

佐久市中込3611-170
TEL.0267-64-1822

国実

検索

手で描いたような

白線がひかれた空に

枯れ葉が擦れ合い包み泣き

枝先から落ちていく。

移り行く鱗雲は赤みを帯び

老いたる薄は斜陽を含みその銀色の

たてがみをなびかせていた。

(一)

深し谷間を流れる涿鹿のぞね
肩をたたきあひこの大地の
めきは、右へ左へと木立に区
隔々までを察し、路地にこ
響しなかに斜面を駆け上って
め、家を麗き上げ四季を全身
鳴き渡る鳥のさえずりは、そ
で抱きしめてきた。

裸でなくておぼろしい山間の集
そこから浮き受け続けた遺風
落の静けさを鮮烈に際立たせ
ておぼろげな身に纏のど
京子(仮名)はその日、整然
場所はただの土地ではない。

と並み、その回りの景色
彼女にとっては、家族の記憶
を支配し感情とつながり、
ターを一切排したその余微、
彼女を包み込む笑顔・温もり、
そのすべてが心の拠り所で
あつた。

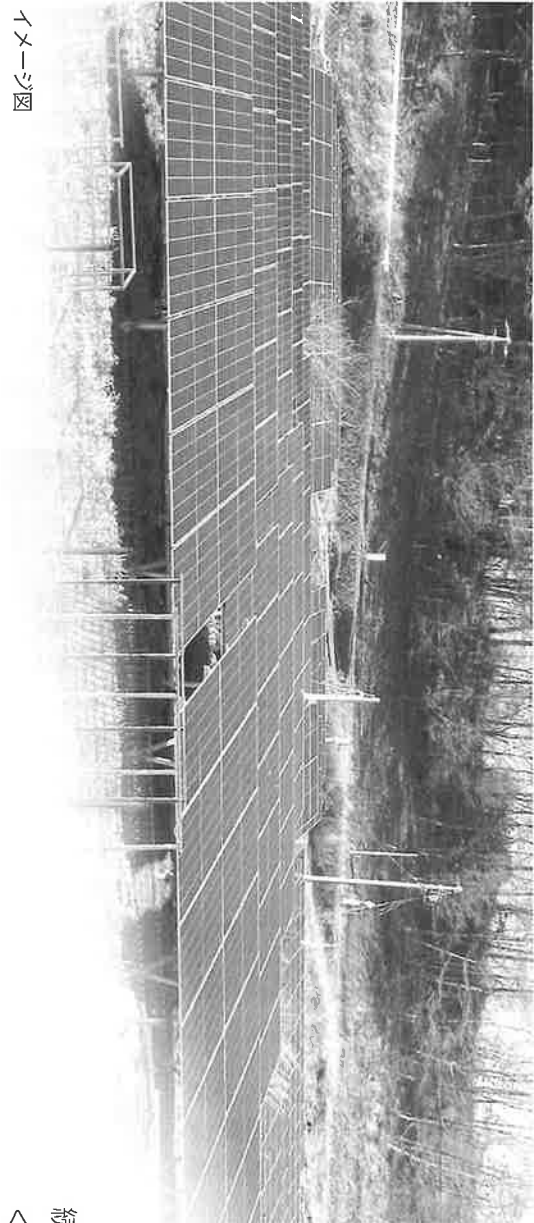
この春、夫が突然逝った(里
しかし、高齢化が進み人口が
減り、景色が変わり書きのし
に下るぞ)という言ひに京子
は激しく動揺した。

母が施設に入り、生き家と
で、全体を覆う重苦しい時代
なつた彼女の実家をいつオ一
の光は京子の周りにも影を落
とし移住するといふ事だつ
た。

縁あつてこの地に嫁いで40有
ねある。だから仕方ない、
余年。彼女は夢中で働いてき
しものがなけり事と何故も自分
だ。農作業の汗を拭き拭き、
に言ひ聞かせた。

それでも振り切れない未来が
後ろ髪を引いていた。夕暮れの彩霞を遠
とした無機質な景色は、彼女から体温を
奪い、そこから締め出された
温もりが涙になつてこぼれた。
長く伸びた影と薄の穂が、横たわる40年
と11歳月を優しく満たしていった。

続く



イメージ図

断熱施工の窓
しもの木、ロープの木 一緒に育ててみませんか。

(水やりレボコ)の会
会員募集 名々様

どちらかの苗木【両方でも可】を家族
の様に感じ愛情で育てていただきます。
定期的な 情報交換会つてんを使って
のグループ交流などで、成長の喜びを
慢じたり相談し合つたりで、たねに
実る姿を目撃します。

- 規約
- ① 名前を付けていただきます
 - ② お子様のいるお家では、写真や絵日記で成
長を記録提出可能であれば、園週に撮影し
ます。
 - ③ 室内温度 1度以下にならない環境
④ 苗木は実費負担(三十円～六十円)
 - ⑤ 全員の参加、かつ、オールの持参あり
⑥ 園週通信にて情報発信させていただきます
 - ⑦ 性別 年齢 居住地域問いません

もったいなく
美を未来へと
点つ茶かな
園子

リベーションを終えた
お客様の古民家をお借りして
お茶会を開催します
180年といつ時を感じながら
古の空間で
茶の香りを満喫しましょう

日 時 令和7年 1月10日
開催場所 小諸市
【詳しくはお申込みの際に】
時間 AM10時～12時(時間指定)
募集人員 【5組】基本お一人参加ですが
ご夫婦 お子様連れも名まで
参加費用 お一人様500円
点でていただく人 豊千家 花里様
お申込み 64・1822 佐々木まで



ひなた

豆蔵

カフェ(オーガル)のテラスで野点体験 カラーでないので残念

お茶会場 立礼にて行います

時間と心を整理するこの

難しさを

実家の片付けで身に沁みました

暮らしのサマナー 第一回は
『難攻不落の実家城』
いかに攻めるか!!

移ろつ季節に身を任せ、過ぎた
日々を丁寧に折りたたんでい
そんな当たり前の営みが最近難
れていくのは、人が減っている
せいでしょうか。
そこで問題になっているのが空
家です。
世の(実家とつながる、)でお悩
みの紳士・淑女のおなさんに朗
報です。
解体、売却、賃貸など解決策は
いくつかわありますが費用、相続
立地的条件を重なる、なかなか
かうまくいかならというのが現
状です。

今回は片付けの基本、思い出し
紐づいた物の取り扱い、もった
いないの再考の他、実際の処分
金額、分別なども学びます。

場所 国実事務所
日時 2月12日(水) 10時より
参加人員 4名
お申込み・お問い合せは
参加費 1000円
講師 オニツク片付け
アドバイザー
インストラ
コナーネーター
収納アドバイザー 齋田様

